



## 「2018年3月期第2四半期決算説明会」概要

11月9日(木)、東京放送ホールディングスの「2018年3月期第2四半期決算説明会」が行われました。概要は以下のとおりです。

出席者：東京放送ホールディングス代表取締役社長 武田 信二  
専務取締役 佐々木 卓  
常務取締役 河合 俊明

参加者：およそ50名

### 〈決算ハイライトほか〉 武田社長

上期の連結決算は、5月に発表した上期の業績予想と比べると売上高、営業利益、経常利益、最終利益とも想定を上回る結果となった。営業利益は100億円を突破。放送、映像文化、不動産の全てのセグメントで増収増益となった。この結果を受け、通期の連結決算の予想を修正。上期の上方修正を反映する形で売上高3610億円、営業利益220億円と想定している。

グループ中期経営計画2018は、営業利益と売上高営業利益率については、既に2年前倒しで目標を達成している。現在修正を検討中で、今年度中には発表する予定。

「放送事業の強化」については、中核である地上波テレビの視聴率が向上している。G帯は10年ぶりに単独3位、P帯は10年半ぶりに単独2位となった。また4月編成では全日、ノンプライム帯の改革をテーマとし、その狙い通り、平日の朝から夕方までのベルト番組が上昇傾向にある。全日、ノンプライム帯とも前年度に比べて数字が上昇し、特にノンプライム帯では5位から4位に順位を上げた。

中期経営計画で掲げたグループとしての総合メディア戦略・総合編成も引き続き、強化している。自社グループ内の番組コンテンツのマルチ展開を強化するのはもちろんだが、他社との共同事業として上期に2つの事業会社を立ちあげた。動画配信サービスを主な事業とする「プレミアム・プラットフォーム・ジャパン」(以降PPJ)と、ゴルフ関連総合情報サービスを行う「ゴルフネットワークプラス」だ。PPJはこれまでの動画配信サービスの枠にとらわれず、新しいスタイルの視聴体験を提供することを目指している。独自の個性を持つメディアグループが協業することで、視聴者により魅力的なサービスを提供できると考えている。サービスの開始は来年4月。

宇宙プロジェクトについて。宇宙開発は、最近では国家から民間に主導権が移りつつある。TBSは、そうした民間企業の一つ株式会社ispaceと戦略的メディア・パートナー契約を結んだ。ispaceは人類初の月面探査レースへ日本から唯一参加するチーム「HAKUTO」の運営会社であり、TBSがその活動を応援していく。

## 〈TBSグループの財務状況など〉 河合常務

上期の連結売上高は1775億円で、50億円の増収。営業利益は101億円で27億円の増益。TBSホールディングス単体の売上高は87億円でほぼ横ばいだったが、Bizタワーの稼働改善により1億円の増益となった。またTBSテレビ等からの受取配当金の増加などにより、経常利益以下は二ケタの伸び率となった。TBSテレビ単体については、売上高は1075億円で26億円の増収、営業利益は29億円と、7億円の増益。

TBSテレビの収入の内訳について。タイム収入はネットタイムのレギュラーセールスが好調だったほか、単発の「世界陸上ロンドン大会」が貢献して、9億円の増収。スポット収入は、地区投下は軟調だったものの、視聴率の回復を受けて、TBSは前年を上回り、1億円の増収だった。また番組販売や配信等のコンテンツ収入は、5億円の増収となった。事業部門は、ステージアROUNDや海外事業などが好調で、9億円増収の148億円。不動産部門は、ほぼ前年並みで、5900万円増収の15億円だった。

主な連結会社の業績について、TBSラジオの売上高は、3億円減収の50億円。一方、コストコントロールの継続で、営業利益以下は二ケタの伸び率となった。BS-TBSの売上高は、5千万円減収の82億円。こちらも、制作費や設備等のコストコントロールにより営業利益以下は二ケタの伸び率となっている。

## 〈視聴率、編成方針、新規事業など〉 佐々木専務

上期の視聴率は、全日が6.1%で4位、G帯が9.6%で3位、P帯が9.5%で2位。こうしたG・P帯好調の牽引役となっているのがドラマと、『マツコの知らない世界』『プレバト!!』(MBS)『爆報! THE フライデー』『びったんこカン★カン』『中居正広の金曜日のスマイルたちへ』などの堅調なバラエティ。どの番組も同時帯のトップを2期以上連続で続けていて堅調に推移している。さらに土曜夜から日曜午後にかけての情報番組の流れはがっちりとした視聴習慣がついていて、いわば鉄壁。下期については、さらなる視聴率の回復を目指し、損益状況を見極めた上で、機動的な制作費の投入を心がけたい。

10月編成のポイントについて。苦戦している月曜日の強化だが、よる7時には特番として放送し、すでに実績のある医療ウォッチングバラエティ『名医のTHE太鼓判!』、10時には関ジャニ∞のグルメバラエティ『ペコジャニ∞!』を編成。制作陣は過去に実績のあるチームなので、今後にご期待頂きたい。また引き続き全日、ノンプライム帯のベルト番組のさらなる改善に力を注いでいくほか、番組の開始時間をわかりやすくするため、G・P帯の開始時間を正時とした。

下期のドラマについて。池井戸潤さんの人気小説を日曜劇場で早くもドラマ化した『陸王』。足袋作りの老舗が挑む感動の企業再生物語だ。初回の視聴率は14.7%と好スタートを切り、第三話も15.0%と、話題作となっている。火曜ドラマは、宮藤官九郎さんが脚本を担当し、小泉今日子さんが16年ぶりにTBSドラマで主演する話題作『監獄のお姫さま』。金曜ドラマの『コウノドリ』は、前作から主演の綾野剛さんをはじめ、キャストが再結集。女性層の圧倒的な支持を得て好スタートをきっている。

映画「忍びの国」は興業収入24億円超、観客動員も200万人に迫る大ヒットとなった。下期は4本を公開予定。10月「先生!、、、好きになってもいいですか?」、12月「8年越しの花嫁」、来年1月に人気アニメ「中二病でも恋がしたい!」の最新作と、ドラマ「新参者」シリーズの完結編「祈りの幕が下りる時」。10月から「古代アンデス文明展」を東京で開催中。3月に開幕した「ステージアROUND東京」での公演は開幕以来、連日完売の大盛況となっており、来年度以降も魅力的なラインアップが控えている。 以上